



## 南葵音楽文庫ミニレクチャー vol.94

### 南葵音楽文庫を知る -基本の基本- 8. 失われた貴重書

2019年10月19日(土)1100~ 南葵音楽文庫閲覧室

美山良夫

南葵音楽図書館閉鎖後、所蔵資料は慶應義塾図書館に寄託、公開された。しかし、1945年3月の東京大空襲後、寄託契約は解除され、資料は疎開。以後1999年に読売日本交響楽団が一括して24時間空調の部屋で保管を開始するまで、資料の所在は転々とした。その間、一部は音楽専門古書店で販売された。そこから南葵旧蔵資料を購入した音楽大学図書館のほとんどは、1970年前後にそれらを南葵音楽文庫に返還している。今世紀になって、慶應義塾図書館で見つかった南葵音楽図書館印のある書籍も直ちに返還された。おそらく、戦争末期の慌ただしい疎開からまれ、寄託先に残ってしまったのであろう。

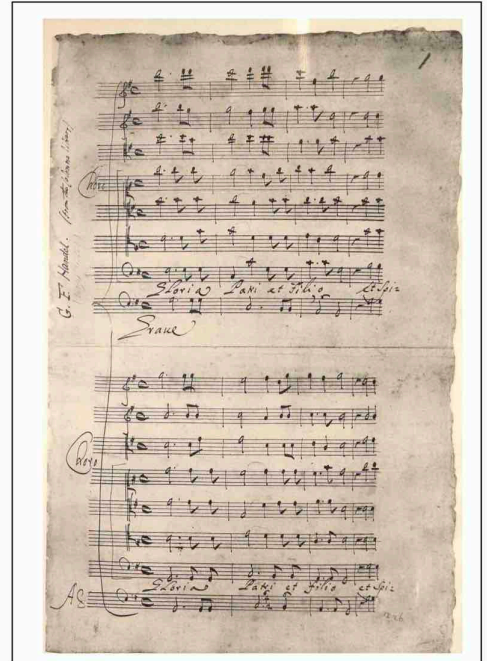
このような関係者の努力にもかかわらず、行方がわからなくなっている資料もあり、そのなかには何点かの特に貴重な書籍、楽譜が含まれている。

南葵音楽文庫  
和歌山県立図書館内  
和歌山市西高松 1-7-38  
tel. 073-436-9500

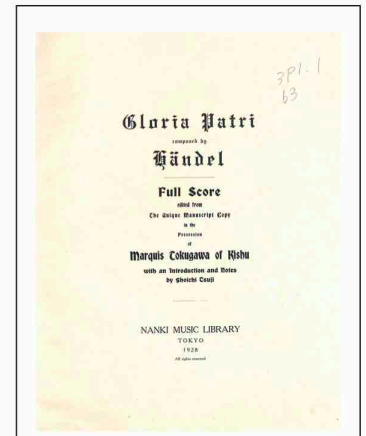
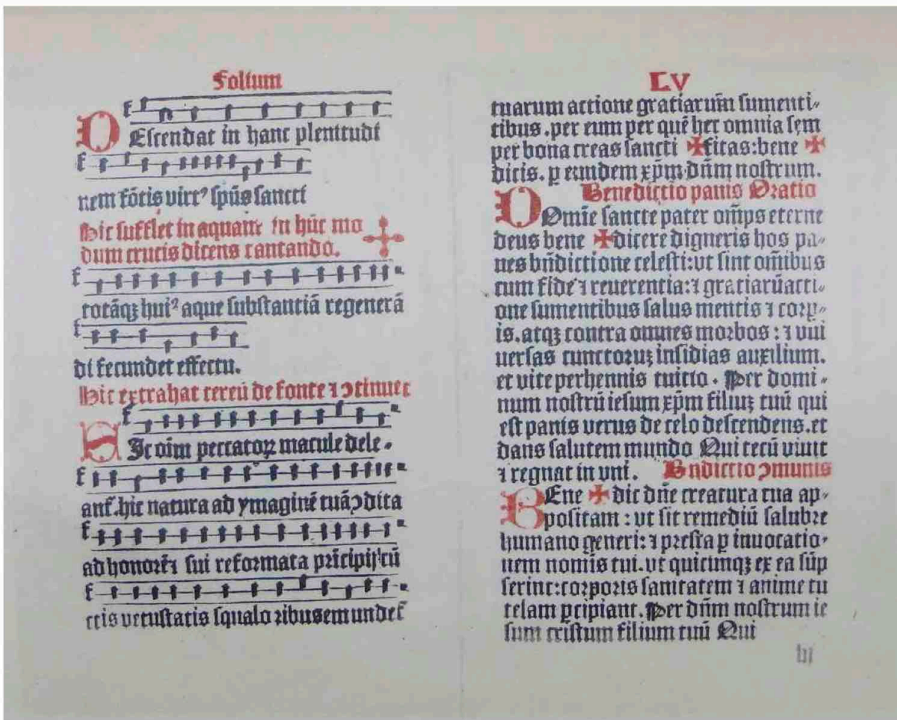
#### ① G.F.ヘンデル 《グローリア・パトリ》 Gloria patri (筆写楽譜 ウニクム)

「この曲は1707年7月13日ローマにおいてヘンデルが作曲し、自筆にて書き下ろしたる楽譜をコロンナ家の図書係が再び筆写したるものなりとす。惜しむらくは自筆の楽譜はフーゴ・ライヒテントリットのヘンデル伝96頁に記せる如く1860年クリフトンにおいて祝融に遭いて灰燼に帰したる事なり。依って今吾等が茲に見るコロンナ家より出て、ゴダード Godard 氏の所有に帰し、後にカミングス氏の手落ち、南葵音楽図書館に移されたる此楽譜のみが信憑すべき唯一の材料となりたるものなり。」(辻莊一)

ファクシミリ版と校訂楽譜 南葵音楽図書館 1928年 →



#### ② Agenda Moguntinensis [Strasbourg: Johann Prüss c.1492]



↑ 南葵音楽図書館旧蔵本

参照 徳永聡子 南葵音楽文庫のインキュナブラ Oxalis 2007